

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

2021-2022 事業報告書

工組・支部名 : 北海道電気工事業工業組合 名寄支部
資料提出日 : 令和3年7月27日

1. 【事業名】子ども工作教室 (BG 塾 in けんぶち)

【区分】 新規事業 ・ 継続事業 (6 期目) ※該当事業を選択してください。

【分類】 (J) 下記 A～F より選択してください。

A:意見交換会	B:体験型	C:ボランティア	D:交流	E:研修
F:寄贈、寄付	G:制作・製品化	H:提携	I:コンテスト	J:その他

2. 【実施日時・作成者】

令和3年7月27日(火)9時～12時 作成者:品田 新一

3. 【実施場所】

帯広市立西陵中学校

4. 【提言書 2020 との適合性】本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

提言書 2020 ➡ <https://tinyurl.com/yhrft7xb>

①人材育成と後継者育成 (P.5～) ②組合員の経営安定化の支援 (P.12～)

③技術・施工品質の向上と経営能力の向上 (P.16～)

◎項目番号: _____ ◎提言書ページ: _____

◎提言書にない場合: _____

5. 【事業目的】

参加の子供たちに、普段さわることのできない電気の仕組みに触れて楽しんでもらうとともに、電気工事に対して興味をもってもらう。また、地域に対して、業界として取り組んでいることをアピールし、社会的価値を高めることを目的とする。

6. 【事業内容】

BG 塾 in けんぶち内 1 コマ

『でんき工作教室』LED ライトをつくってみよう

- ・講師派遣
- ・工作キット提供

7. 【参加員数】

青年部員 4 名

生徒 30 名

8. 【外部協力者】

剣淵町 B&G 海洋センター、剣淵町教育委員会

9. 【事業総額】

80,000 円

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

10. 【事業の成果・PRポイント】

工作だけでなく電気の仕組み勉強していただいたり、もライトのほかテスターとしての使い方もできるキットを選定したことで、教室終了後も楽しく学んでいただける事を期待しました。
また、電気工事組合として参加することで、業界、組合の活動をPRする事が出来ました。

11. 【反省点または工夫した点】

- ・広い管内で青年部全体で取り組むことが難しい現実の中、各地で開催されるイベント、教室等に参加、協力することはその教室でもの果だけでなく、経験や成果を青年部全体で共有できる機会とであると感じました。

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

12. 【別添資料（写真・動画等）】



「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」
 ～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

B G 塾 開講
工作やカヌー体験など

剣淵町海洋センター 初回は北部電気協会の青年部を講師に

剣淵町で「B G 塾」が27日から始まり、子どもたちが工作体験などを行っている。
 B & G財団の支援を受け、剣淵町B & G海洋センターが主催したもの。
 27日は午前中にラジオ体操や学習をしたあと、工作教室でLED懐中電灯づくりを体験した。

工作教室は北部電気工事事業協同組合青年部が工作キットの提供や講師として協力。灯りがつく仕組みや電気の通り方などを学びながら懐中電灯づくりを行った。
 B G 塾は29日までの3日間と8月6日と6日に実施。スールやカヌー体験、福有会とのまんじゅうづくり、パ

ラリンピック競技体験を行う予定となつていなど、さまざまな体験がある。 (五十嵐直人)



工作体験をする子どもたち